

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		発達支援サポートniconico		公表日		R8年 3月 25日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		人数や活動によっては狭さを感じることはある	できるだけ外へ出る機会を設けながら、必要に応じてスペースを分けて活動していく	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		○	肢体不自由の利用者を受けていない為、バリアフリーは行っていない	子どもにとって安全でわかりやすい環境作りをしていく	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日清掃、消毒を行っている		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		月2回の会議内で設けている		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		今回が初の自己評価になるので、保護者の意見や意向を参考に業務改善に努めていく	頂いた意見を参考により一層の支援の充実業務改善を行っていきます	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		日々、意見を伝えあいながら、業務改善に努めている		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	内部評価は行っているが、外部評価は行っていない		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		毎月事業所内で行っている 毎年2回会社内の事業所合同の研修も行っている	研修を生かして、支援の質の向上に努めていきます	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		モニタリングや契約時のアセスメントを行い、ニーズや課題の把握をしている		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		計画の原案を児童発達支援管理責任者が行い、職員の意見を聞きながら最終的な決定を行っている		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		共有しながら、日々の支援を行っている		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		就学前のお子さんに合わせたアセスメントツールを使用している		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○				
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		利用児の興味関心に合わせたプログラムやそれぞれの課題に合ったものを作成している	今後も利用児の興味関心に合わせて、プログラム作成を行います	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		その子に合ったで活動を行っている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		前日や当日にホワイトボードで行っている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		送迎後に職員で確認したり、翌日に前日不在の職員に共有している	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的に見直しを行っている	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		保護者や併行利用施設の同意が得られたら、見学や情報共有を行い相互理解に努めている	今後も同意を確認しながら、各施設と情報共有をし、支援に活かしていきます
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		放課後等デイサービスには引継ぎを行い、必要があれば学校等との情報共有を行う	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		○	まだ、設けていないが必要があると判断すれば機会を設けていきたい	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		学童利用の子や職員のお子さんと活動している	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		送迎時など定期的に話し合いを持っている	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		相談があったときに適宜支援を行ったり、見学や参観にお誘いしている	今後は保護者会やペアレントトレーニング講座、親子遠足などの保護者が参加しやすい企画し行っていきたい	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に行い、質問があればいつでも相談を受け付けている	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		アセスメントやモニタリング時に行っている	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		計画作成後に内容を説明して、同意の署名を頂いている	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		送迎時やLINEなどで相談に応じながら、必要があれば別途面談の機会を設けている	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○	来年度から年に一回程度実施予定	来年度から企画し、法人内の他事業所とも協力しながら連携を図っていきたい
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○	真摯に受け止め、早期解決に向け意識をもって対応している	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○	おたよりやインスタグラムで発信を行っている	定期的なお便り発行や、インスタグラムの更新を行い、活動の様子を伝えていきます
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○	研修を実施し、留意している	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○	絵カードや写真など用意し、意思疎通を図っている	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○	イベントなどを通して、近所の方と交流できるようにしていく	ハロウィンや地域合同のイベントなどに参加していく
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○	職員には研修を通して周知しているが、保護者には十分ではないかもしれないので改善を考える	保護者へのマニュアル（簡潔版）を配布したり、参加型の訓練を行っていく
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○	児童も含め職員も定期的に行っている	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○	契約時や必要があったときに確認している	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○	保護者からの指示を受け食材の表示をよく見て提供している	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○	年間を通じた安全計画を作成、実施、改善している	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○	家族等への周知が不十分であったので、改善に努めていく	安全計画の内容や実施をお便りやLINE等で周知徹底していく
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○	年二回研修を実施している		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○	これまで身体拘束を行ったことはないが、契約時に保護者説明を行っている。		